

情報学部情報科学科における一般選抜（前期日程）で課す「英語」について

この文書は、情報学部情報科学科が一般選抜（前期日程）志願者に課す独自の「英語」問題（仮に大問6とする）について、その出題内容のイメージを示したものです。

情報学部情報科学科独自の問題では、情報分野を含む科学技術に関する英語問題を通じて、言語運用能力、数理論理力・分析力、問題解決能力など、情報科学を基盤に社会で活躍していくために必要な素養（情報科学的素養）を判断します。

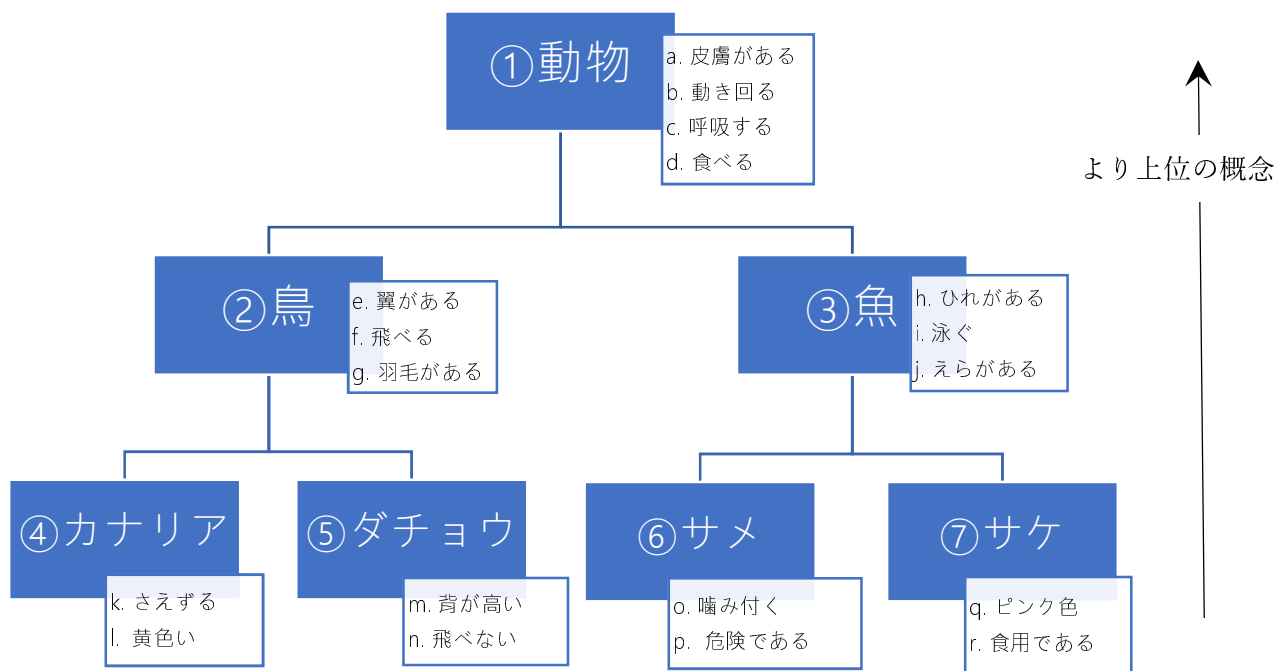
この文書内容は、「過去問題」と同等の利便を志願者のみなさんに提供すべく、公開するものです。ただし、今後の入試における出題内容を確認するものではなく、これらのうちのどれかの形式で出題されるとは限りません。

【例 1】 注：出題文は英文で与えられることがあります。

6

下の図は概念とその関係および特徴を階層的に表現したもので、注目している概念の特徴はそれより上位の概念がもつ特徴を継承します。また、上位で表現されている概念がもつ特徴と食い違う場合は、そこに固有の特徴が表現されています。

このとき、上位概念と下位概念の関係は“is a kind of”で、ある概念が持つ特徴は“have”や“can 動詞”や“is 形容詞”を用いることで、英文として表現できます。例えば下の図では、Birds are a kind of animal. Birds typically have wings. Fishes typically can swim. Sharks are typically dangerous. 等々が表現されています。



羽毛: feathers, ひれ: fins, えら: gills, さえずる: tweet, 食用: edible

この図に基づいて、以下の問いに対して答えなさい。

- (1) 概念「カナリア」と概念「ダチョウ」に共通する特徴を a～r の中からすべて選びなさい。

(2) 概念「魚」の特徴として「食用である」とすることは正しいだろうか. 正誤とその理由を英文1文で答えなさい.

(3) 次の特徴をすべて合わせもつ動物 X について考える.

- 噛み付く
- 危険である
- 泳ぐ
- 魚ではない
- 飛べない
- さえずる
- 黄色い

動物 X は salmon の下に位置付けることが可能だろうか. 答えとその理由を英文1文で答えなさい.

※注

(1)は、「図表の解釈はルールに従って正しく行えたが、英作文を間違えた」答案と「図表の解釈を間違えたので、英作文も間違えた」答案とを識別することを意図した問です. この問があることにより、(2)(3)をより適切に採点できるものと考えます.

【例 2】

★注：このタイプの出題の場合，出題文は英文で与えられます。★

6

2つのボートが，川の両岸から向かい合って同時に出発し，川岸と垂直に進んだ．それぞれのボートは一定の速さで進み，また，一方は他方より速いとする．これらのボートは，最初，近い方の岸から 50 メートルの距離の位置ですれ違った．それぞれのボートは対岸に着いた後，ちょうど 1 分休憩してから，元の川岸を目指して引き返した．すると今度は，先ほどとは逆側の岸から 30 メートルの距離ですれ違った．さて，川幅は何メートルでしょうか？

問：

下線部の答えを導く方法について，数式や図を用いて日本語で論理的に説明しなさい．
なお，川幅を求めなさいという問いではないことに注意しなさい．